
真夜中の雨

geinguns

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

真夜中の雨

【Nコード】

N0177D

【作者名】

geinguns

【あらすじ】

夜中に子供がうつついてたんで心配になった話……！

俺たち不良夫婦は

昨日夜中の1時頃突然思い立ちカラオケに行くことにした。

子供たちが寝ている間にちよつとだけ遊びに行こう。

音を立てないようそーっと家を出た。

すると誰かが歩いてる、、、ああ向かいの人かなあ、あれ？

こんな時間に（夜1時）に子供が道を歩いていた、。

俺の奥さんが「あれ向かいのーちゃんだよ!」

といってあとを追いかけ始めた。

やっぱり向かいの子だった。

訳を聞いてみると怒られて追い出されたらしい。

よくあるパターンだ。しかし普通の子はうちに入れてーって泣くところだが

この子はじつと外にいてたらしい。

よく見ると裏口に鍵がかかってない。

ここから入ってきなさいっていうメッセージだとは思うのだが
その子は怒られるからってかたくなに家に入ろうとしない。

家の鍵もあいてることだし、

そこから家に入りなさいと言いつつ残して俺たちはカラオケに行った。

カラオケでは1時間ほどイエモンとかドリカムとかミスチルとか熱唱した。

外に出ると暗い雨が降り出していた。

家の前まで帰ってきた。もう帰ったかなあ、、また怒られてなきやいいけど、、

えーまだいるやん！まだ家の前にいるやん！

夜中の3時ごろ雨の中子供がたたずんでる姿はさすがに不憫だった。

家の人に電話するかちょっと悩んだが
時間も時間だしうちに泊めることにした。

遠慮しながらに家に入ってきたその子は
伏し目がちに俺のギターをずっと眺めていた。
布団を敷くとすぐに寝たらしい。

朝家に帰るとまた怒られていたらしい。
悪いことしちゃったかなあ、、、

俺はあの子が伏し目がちにギターを見つめる視線が忘れられなかつた。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0177d/>

真夜中の雨

2010年12月2日03時10分発行